令和五年度大阪府学力検査問題

国語採点資料〔B問題〕

受験番号	番	得点	

〈問題五を除く〉

一

問	解答	配点	注意事項
1	Ⓐ　B　C　D	3	
2 a	過去に存在	4	
2 b	観察や実験を行い、データを集め、それを分析する（20）（30）ことによってわかった事実や現実に関する新しいことが知識となる。	6	部分点を与える。
3	ア　イ　㋒　エ	4	
4	ア　㋑　ウ　エ	4	
計		21	

二

問	解答	配点	注意事項
1 a	他の書	4	
1 b	はじめにわからなかった事もわかる（10）（15）ようになっていく。	6	部分点を与える。
2	たちかえりつつ	2	
3	ア　㋑　ウ　エ	4	
計		16	

三

問	解答	配点	注意事項
1 (1)	栄誉（えいよ）	1	
1 (2)	佳境（かきょう）	1	
1 (3)	募る（つのる）	1	
1 (4)	携えて（たずさえて）	1	
1 (5)	タモつ　保つ	2	
1 (6)	ササえる　支える	2	
1 (7)	キュウキュウ　救急	2	
1 (8)	リョウイキ　領域	2	
2	㋐　イ　ウ　エ	2	
計		14	

注意事項：採点に当たっては，「常用漢字表（付）字体についての解説」および「常用漢字表の字体・字形に関する指針（報告）」をふまえ，採点基準を定めること。裏面に，「常用漢字表の字体・字形に関する指針（報告）」の「字形比較表」の一部を示している。

四

問	解答	配点	注意事項
1	ア　イ　㋒　エ	3	
2	ア　イ　㋒　エ	4	
3 a	『童子問』の間にはさみ込まれていた葉は、紙魚を防ぐためのものだった（20）（30）ことが分かり、という	6	部分点を与える。
3 b	何かいとわしいもの	4	
3 c	かすかな痕跡	4	
計		21	

三 1　「常用漢字表の字体・字形に関する指針（報告）」（平成28年2月29日　文化審議会国語分科会）字形比較表

	番号	常用漢字表	代表音訓	配当学年	印刷文字の字形の例	手書き文字の字形の例	第２章関連項目 ※１	第３章 Q&A 関連項目 ※１
(5)	1818	保	ホ	5	保 保 保 保	保 保 保 など	4-(3)(4)(5)	Q38,41,68
(6)	761	支	シ	5	支 支 支 支	支 支 など	3-(3),4-(3)(4)	Q40,55,68
(7)	376	救	キュウ	4 ※２	救 救 救 救	救 救 など	3-(2),4-(3)(4)(6)	Q40,56,68
	372	急	キュウ	3	急 急 急 急	急 急 など	3-(5),4-(1)(3)	Q40,56,58,62
(8)	2069	領	リョウ	5	領 領 領 領	領 領 領 など	4-(1)(3)(6)	Q40,42,61,62,75
	39	域	イキ	6	域 域 域 域	域 域 など	4-(4)	Q70

※１　関連項目についても確認すること。
※２「小学校学習指導要領（平成29年３月告示）第２章第１節国語　学年別漢字配当表」においては第５学年に配当。

五

（注意事項）
- 解答状況を把握した上で，下記の観点に基づき，採点基準の例を参考にしながら，各学校において採点基準をつくること。
- 採点した結果が，配点のすべての段階にわたるように留意すること。
- 採点者は２名以上とし，各答案をそれぞれ２名以上で，18点満点で採点すること。
- 得点については，各採点の平均をとり，小数点以下の端数は四捨五入すること。

（観点）
○　指示された条件にしたがって，自分の考えが書かれていること。
○　内容
- 主題や要旨が明確であること。
- 根拠や例示が的確であること。
- 文章の展開が論理的であること。

（13点）

○　表記　（５点）

（採点基準の例）

	S	A	B	C
内容についての採点基準の例	・主題や要旨が非常に明快で，主旨を明確に読み取ることができ，きわめて説得力がある。 ・考えの根拠が妥当できわめて説得力があり，例示が非常に具体的で分かりやすい。 ・論理が非常に明確で，筋道を立てて構成されており，文章がきわめて円滑に展開されている。	・主題や要旨が明快で，主旨を明確に読み取ることができる。 ・考えの根拠が妥当であり，例示が具体的で分かりやすい。 ・論理が明確で，筋道を立てて構成されており，文章が円滑に展開されている。	・主題や要旨に明快でないところがあり，主旨をあまり明確に読み取ることができない。 ・考えの根拠に妥当でないところがあり，例示があまり具体的でなくやや分かりにくい。 ・論理があまり明確でなく，筋道を立てて構成されていないところがあり，文章があまり円滑に展開されていない。	・主題や要旨が全く明快でなく，主旨を読み取ることができない。 ・考えの根拠が全く妥当でなく，例示が具体的でなく非常に分かりにくい。 ・論理が不明確で，筋道を立てて構成されておらず，文章が全く円滑に展開されていない。

表記についての採点基準の例	・原稿用紙の使い方が正しい。 ・誤字や脱字がなく，漢字が適切に用いられている。 ・語句の用法が適切である。 ・文の成分の順序や照応が適切である。